

=市史編さん便り= 【39号】 令和3年9月30日(木) 発行.

*****土佐清水市教育委員会生涯学習課・市史編さん室

「第2回土佐清水市史編集委員会」開催

9月29日(水)、中央公民館3階多目的ホールで9名の編集委員と事務局(市史編さん室)が会し、執筆状況・細則・著作権許可申請について確認をおこなった。冒頭の開会あいさつは、新任の岡崎哲也教育長(市史編さん副委員長)にお願いした。岡崎教育長は各編集委員の日頃の労をねぎらい、『新市史』を学校教育において活用して地域学習していける基盤を整えていきたいとあいさつした。この言葉を受けて、本市の教育活動にも活用できる教材になるよう、最後まで妥協せず、ベストを尽くして編集員各自がやり遂げなければならないとあらためて感じたことであった。(田村)

【出席者】教育長・岡崎哲也、編集委員長・田村公利、副委員長・東近 伸、編集委員・松田直則、出原恵三、谷岡暁美、浜岡 篤、岩井拓史、森口夏季、市史編さん係長・由岐直久、同係員・吉本工心
株式会社ぎょうせい四国支社出版営業課課長代理・藤山昌士 以上12名。



—「第2回市史編集委員会」協議内容の要旨—

(1) 記述細則について

①「1980年代」のように西暦で書いてもよいか？⇒**和暦でなくても可。**

②敬称の取り扱いは？

⇒【榊ぎょうせいの回答】敬称略を原則に、通例として、敬称を入れる場合は身近な方であるとか、調査等の協力者については「さん」や「氏」を入れることはある。巻頭の**例言に敬称を省略することをあらかじめ記載しておく。**※4頁フォロー図参照

③**著作権について。**歴史民俗資料館所蔵品を執筆者が撮影したものがある。所有者に許可を得るべきか？⇒**許可を得る。**

補足：資料の経過として表採者である木村剛朗さんが所有していたが、没後、歴民館で管理されている。管理を委託しているのか、寄贈等しているのか、権利関係が分からない。念のために歴民館に許可を受けておく。

④明確な意図がない**表記のゆれ**（「かつお」「カツオ」「鰹」等）は市史全体で一つに統一するのか。⇒明確な意図がないものは**全体で統一**する（「カツオ」で統一する等）
鰹⇒カツオ 鯨⇒クジラ 等々。

⑤漢字使用やルビの要不要の判断は、どのようにすればいいか。

⇒**ルビは多すぎるのも読みにくくなる。中学生・高校生程度なら読める程度のものは省略し、特別な用語等にのみ限り使用する。**

⑥漢数字よりアラビア数字のほうが読みやすいのでは？

⇒**図表については適宜アラビア数字を用いることは可（統一しない）。**
本文に関しては漢数字で記述を！

⑦本文中に旧市史（1980年）と今回の市史に言及する場合、どう呼称すればよいか？

⇒『**旧市史**』『**新市史**』**表記を**

⑧**今回の市史のタイトルは未定**である。次回の会議までに案を考えておいてください。

例『**新土佐清水市史**』『**新修・土佐清水市史**』等々。⇒**次回までの宿題**

(2) 著作権許可申請の手続きについて（編さん室へ提出10～1月）

- ・**来年1月末日までに**申請書（所定様式）を編さん室まで、とりまとめてまとめてご提出ください。
- ・提出後、市史編集委員会委員長名で精査し、各所にまとめて申請書類を提出させていただきます。

市域中世石造物悉皆調査

9月28日(火)10時から南国史談会・濱田眞尚会長、いの史談会・山岡遵会長ら4名の郷土史家が本市の中世石造物調査のため来訪し、調査を実施した。蓮光寺墓地、小江墓地、加久見和泉慶院、有永字山本山、大岐念西寺等を精力的に調査に回った。

濱田会長ら4人は、数年前からチームを作り、(1)石造物に付着した泥やコケ等をブラシで落として拓本を取る。(2)サイズを図る。(3)写真を撮影する。(1)(2)(3)の分業制で役割分担し、スピーディーに調査ができるシステムをつくっている。皆さんの意欲とスタミナに脱帽した1日であった。

これによって、土佐清水市の中世石造物の形態・石質等を分析し、その分布状況を地図に落とせば、市域の中世石造物についての新たな発見があるかもしれない。調査の方法はもとより、その姿勢や中身に至るまで非常に得るものが多い有益な時間であった。



蓮光寺での調査



小江墓地での調査

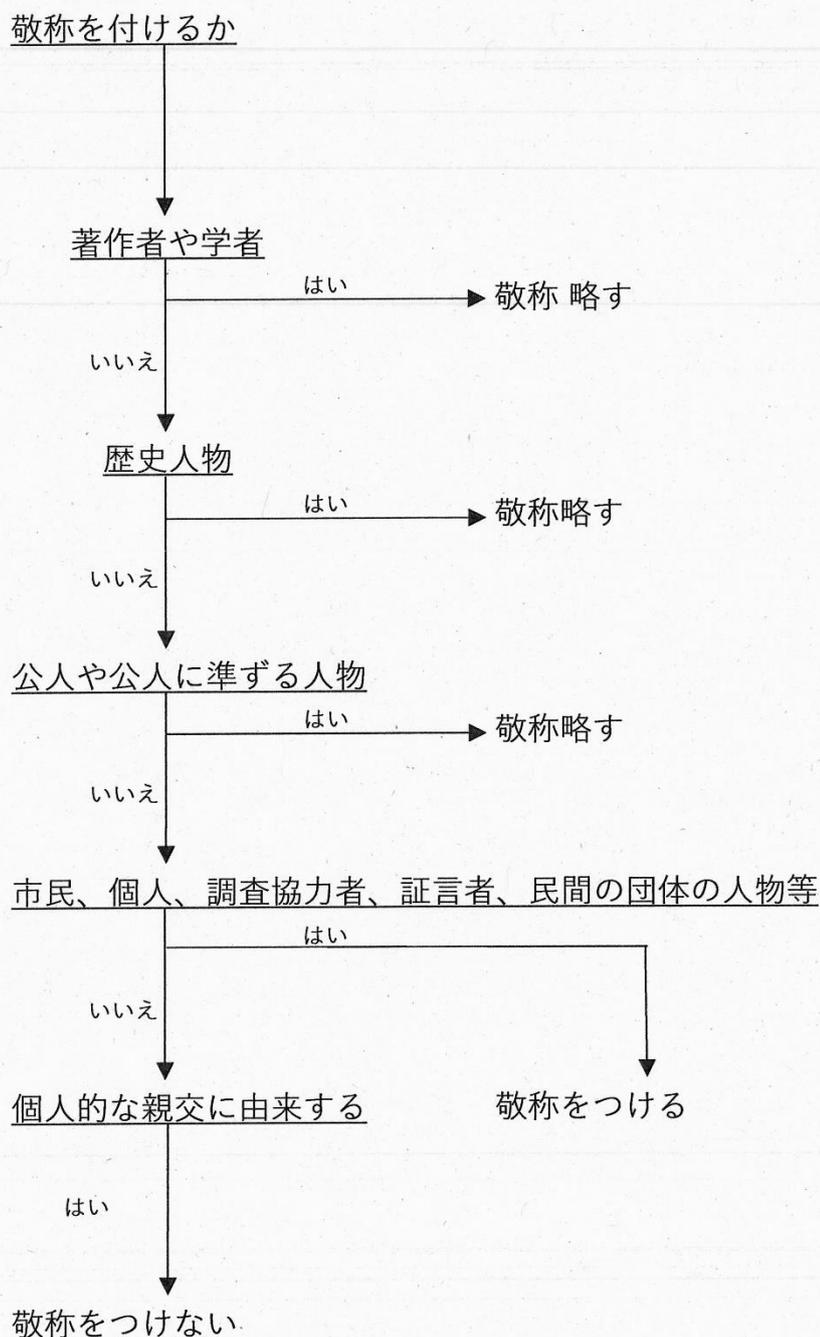


泉慶院跡での調査



有永・字山本山での調査

敬称を略することを基本とし、次のフローを参考にしてください。



※ たとえば学者 A、B において、A だけ敬称をつけると、B には敬意が払われていないような印象がある。